

-----2月7日-----

今週のアウトルック(2/7~2/11)

先週の米国雇用統計は、大きく解釈の分かれる結果となりました。

非農業部門雇用者数が3万6000人増と、市場予想の14万5000人増を大きく下回った一方で、失業率は前月の9.4%から9.0%に低下し、2009年4月以来の水準となりました。

ポジティブな解釈としては、

- ・非農業部門雇用者数の減少は、天候による影響が大きいため、一時的なものにすぎない。失業率が下がっている点を評価する。
- ・新規事業について人々の数は、すぐに非農業部門雇用者数に反映されない。今後改善される可能性が高い。

ネガティブな解釈としては、

- ・失業率が減少したのは、求人数が減ったこと、つまり再就職をあきらめてしまった人々が増えてしまったによるところが大きい。雇用状況は引き続き悪化している。

市場の受け止め方としては、ネガティブな解釈でも、

「思わしくない結果が出た時は、緩和的な金融政策が継続されるとの観測が可能になる」という解釈に結局のところは落ち着いてしまったのかもしれませんが、乱高下の末、円売り方向に一段上がった状況で、NY市場は終了しています。

今週は、一通りイベントを終了したことと、エジプト情勢が他のイスラム諸国へ飛び火する可能性が幾分下がったことなどから、再びリスク志向へ動く可能性が少し高いように思います。

ドル円は、今週、円買いの理由づけが幾分減ってしまったように思います。3月にかけてはまだ分かりませんが、一度円売り方向に動く可能性が少し高くなったかもしれません。

ドル円の予想レンジは82円から83円です。

ユーロは、先週のECB議長会見で、金利引き上げ観測が幾分後退したことから一度売り込まれましたが、今週もそのトレンドを引きずる可能性は少し低いように思います。しばらくは方向感を見いだせず、ユーロドルで1.35から1.38あたりのレンジを行ったり来たりする可能性が高いのではないかと思います。したがってユーロドルは、ドル円の影響から、少し円売り方向に動くのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは111円から113円です。

ポンドも上昇力に鈍さが出てきています。しばらくは方向感が出づらいつながりが続くように思います

ポンド円の予想レンジは130円から134円です。

今週は一通りイベントをこなした点から、方向感を模索しながら、少しずつ円安方向に動くのではないかとみています。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。